

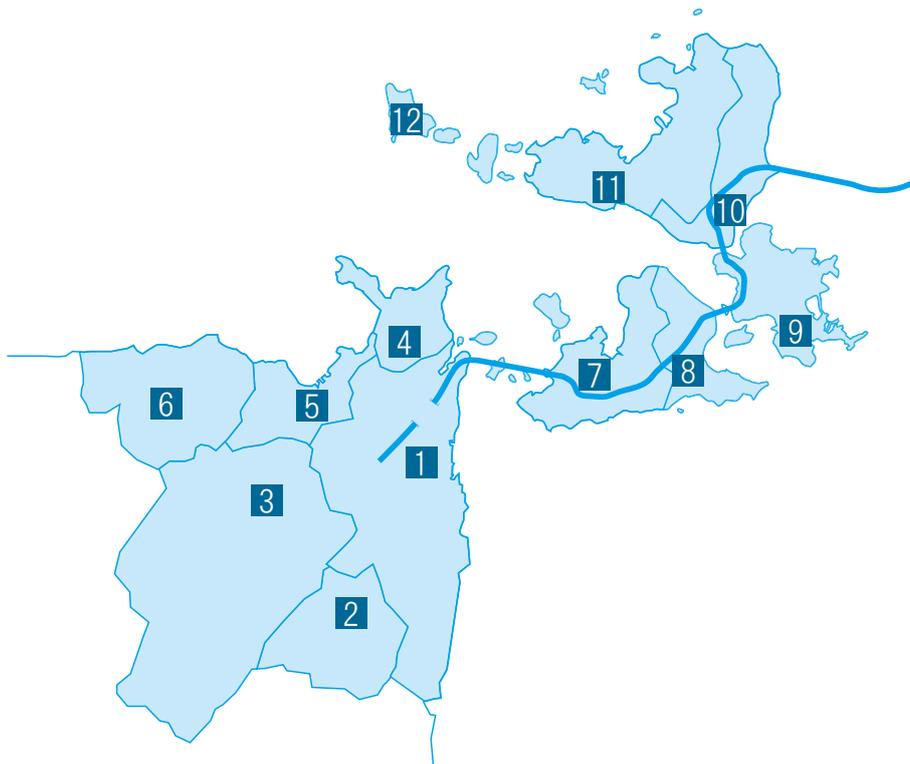
# 第4章

## ● 地域の特色をいかそう-支部活動計画- ●

今治市社会福祉協議会では、旧町村単位（支所単位）に支部を設置し、また旧今治市内では地域住民の福祉推進組織として、16の校区・地区社会福祉協議会が設置され、地域福祉活動を展開するための活動基盤となっています。

第4章では、各支部の地域の特徴や実情、住民座談会でのご意見やアイデアをふまえ、支部の活動目標と取り組みの方向性をまとめました。

今治市社会福祉協議会の12支部



- |          |         |
|----------|---------|
| 1 今治支部   | 2 朝倉支部  |
| 3 玉川支部   | 4 波方支部  |
| 5 大西支部   | 6 菊間支部  |
| 7 吉海支部   | 8 宮窪支部  |
| 9 伯方支部   | 10 上浦支部 |
| 11 大三島支部 | 12 関前支部 |





### ① 支部の概要

平成 30 年 3 月 31 日現在の人口、世帯数、65 歳以上の人口、高齢化率、15 歳以下の人口、年少人口率、年間出生数、出生率、主な産業、伝統文化を記載しています。また、5 年前（平成 25 年）と比較し、特徴的なデータを「注目したいデータ」として記載しています。※出生率は、人口に対する年間出生数の割合となっています。

### ② 住民のみなさんの声

#### ● 5 年前の地域課題の変化

住民座談会の中で、5 年前（第 2 期地域福祉活動計画の策定時）の地域課題が、5 年前と比べどのように変化したかを再評価していただきました。その結果を記載しています。（5 年前の状態を「0」（基準）として 9 段階で点数化し、平均点を記載しています。）

#### ● 今もこんなことで困っている

《住民座談会を通して》

住民座談会に参加していただいた方々から新たな住民の困りごとや地域課題について、出された意見を記載しています。

《アンケート結果から》

「第 3 期地域福祉活動計画策定のためのアンケート」の間 19 の回答で多かった項目を第 3 位まで記載しています。

《社協担当者の分析》

日頃、住民の方々から相談をうけたり、業務の中で感じていることを記載しています。

### ③ 支部活動目標と支部活動計画

住民座談会の中で、自分たちが考える「将来像」や「取り組みアイデア」をまとめ、事業提案をしていただきました。その内容を支部活動計画（短期計画）としてまとめ、中長期的な方向性を支部活動目標として記載しています。

### ④ 支部の取り組み紹介

各支部では地域の実情をふまえ様々な活動を行っています。その一部を紹介しています。

# 1 今治支部



- 人口／世帯数 110,004人／52,027世帯
- 65歳以上の人口 34,402人（高齢化率 31.3%）
- 15歳以下の人口 14,810人（年少人口率 13.3%）
- 年間出生数（出生率） 770人（0.7%）
- 産業 タオル、造船
- 伝統文化 継ぎ獅子

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

| 要介護認定者数 ※住所地<br>特例者を含む |        | 転入／転出         |               | 外国人の数 |        |
|------------------------|--------|---------------|---------------|-------|--------|
| 平成25年                  | 平成30年  | 平成25年         | 平成30年         | 平成25年 | 平成30年  |
| 6,380人                 | 7,112人 | 2,673人/3,269人 | 3,324人/3,476人 | 979人  | 1,577人 |

## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題         | 平均点   | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|-------------------|-------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                   |       | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 地域での認知症高齢者・子どもの安全 | 0.4点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 災害時の避難、初期対応       | 1.3点  |                      |    |    |    |   |   |   | ● |   |
| 地域の絆の希薄化          | -0.6点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 多様化する個別課題         | -0.7点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |

（今治地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

#### 住民座談会を通して

- 団体間・世代間でつなげる機会が少ない。
- 地域活動や団体の担い手・後継者がいない。
- 閉じこもりやひきこもりの人、心身に不調のある人との関係づくりやサポートが難しい。
- 高齢者や障がいのある人への災害時対応が不十分だと思う。

#### アンケート結果から

- 第1位 災害時の対応
- 第2位 空き家
- 第3位 地域活動の担い手不足

### 社協担当者の分析

- 個々の生活スタイルの多様化により自治意識や地域活動への関心が薄れている。
- 心身の不調や家庭環境の変化をきっかけに、社会から孤立し、問題が複合化している。
- 要介護者や障がいのある人と近隣住民との接点が少なく、災害時の対応に不安がある。

## 支部活動目標

一人ひとりが地域への愛着と安心感をもち、  
さりげなく支え合える地域をつくる

家庭・学校・地域のつながりを大切にした交流や福祉教育を推進し、一人ひとりが人や家族を想い、地域への愛着心を育むことで、連帯感のある地域を目指します。また、近隣の関係づくりや助け合い活動を基本に、孤立感を感じることなく、安心して生活できる活動づくりを行います。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 子供からつなぐ地域の「わ」

地域活動や行事に準備段階から子供たちも参加し、多世代交流を通して地域全体のコミュニケーションを深めます。また、地域への愛着心も育みます。



### 災害から「いのち」を守る！ つき合いのあるまちづくり

災害に備える話し合いや取り組みを通して、団体同士の横のつながりをつくります。また、日頃からご近所で声をかけあい、いざという時に助け合える地域をつくります。



### ちょっと！相談に乗ってよ！

ここに住んでよかったと思えるやさしいまちをめざして、地域の各団体が連携し、ちょっとした生活の困りごとや気持ちを聴いてもらえる相談場所を身近なところでつくります。



### 今治支部では、このような福祉活動も行っています



学校や地域と連携した福祉教育  
(赤ちゃんふれあい体験)



校区・地区社会福祉協議会の活動  
(男性料理教室城東地区社協)

## 2 朝倉支部



- 人口／世帯数 4,377人／1,969世帯
  - 65歳以上の人口 1,633人（高齢化率 37.3%）
  - 15歳以下の人口 479人（年少人口率 10.9%）
  - 年間出生数（出生率） 9人（0.2%）
  - 産業 農業（米、野菜、果物）、タオル
  - 伝統文化 古墳・史跡、継ぎ獅子、ニワカ芝居
- 平成30年3月31日現在

### 注目したいデータ



### 住民のみなさんの声

#### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題     | 平均点    | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |  |  |
|---------------|--------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|--|--|
|               |        | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |  |  |
| 災害対策・体制づくり    | 1.3 点  |                      |    |    |    |   |   |   |   | ● |  |  |
| ご近所付き合いの希薄化   | 0.6 点  |                      |    |    |    |   |   |   |   | ● |  |  |
| 少子高齢化による担い手不足 | -0.6 点 |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |  |  |
| 買い物や通院時の交通問題  | -0.3 点 |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |  |  |
| 環境・衛生問題       | 0.3 点  |                      |    |    |    |   |   |   |   | ● |  |  |

（朝倉地域住民座談会の結果より）

#### 今もこんなことで困っている！

##### 住民座談会を通して

- 子どもや若い世代と接する機会が少ない。
- 災害などの緊急時の対策について、地域内での共有ができていない。
- 地域内の困りごとや支援が必要な人に対してどこまで関わりをもって良いかわからない。

##### アンケート結果から

- 第1位** 少子高齢化・人口減少
- 第2位** 地域活動の担い手不足
- 第3位** 災害時の対応

#### 社協担当者の分析

- 介護、障がい、引きこもりなど、多様な背景がある高齢の親と子どもの世帯が、経済的困窮や社会的孤立につながっている。
- 社会参加への意欲が低く、孤立になりがちな独居高齢男性が増加している。
- 誰もが気軽に楽しみをもって参加でき、健康寿命の延伸につながる活動の場が少ない。

## 支部活動目標

# 支援を必要とする人や地域の誰もが 安心して生活できるまちづくり

嬉しいこと・悲しいこと・楽しいこと・不安なこと、どんな些細なことでも気軽に語り合える地域づくりを目指します。また、地域の誰もが、つどい・話し合い・ともに活動することで、お互いが見守り合える関係づくり・自然な支え合い活動につなげます。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 男女厨房に入る会 “もみじ会”

「男子厨房に入らず」はもう古い！男性や高齢者など、誰もが気軽に料理を学べ、美味しいものを食べながら語り合う場を通して、心身の健康増進・生きがいつくりに取り組みます。



### 共助活動を育む事業

常会や地域行事などの既存のつどいの場を活用して、地域で困り事を抱えている方の把握・支援方法、担い手の育成などの様々な地域課題について考えます。



### 全員！生き残り作戦！

小地域ごとにおける防災活動（支え合いマップ、各種訓練など）を実施し、小・中学校と連携し、次世代の担い手を巻き込んだ活動を実践します。



### 朝倉支部では、このような福祉活動も行っています



朝倉ぼうさい探検隊  
(子ども防災学習)



年の瀬ふれあい交流会  
(独居高齢者対象の餅つき交流行事)

# 3 玉川支部



- 人口／世帯数 5,070人／2,230世帯
- 65歳以上の人口 1,992人（高齢化率 39.3%）
- 15歳以下の人口 512人（年少人口率 10.1%）
- 年間出生数（出生率） 16人（0.3%）
- 産業 鈍川温泉、竹炭、農業
- 伝統文化 獅子舞、龍岡漫才

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

| 要支援／要介護認定者数 |             | 出生率     |         | 転入数／転出数    |             |
|-------------|-------------|---------|---------|------------|-------------|
| 平成 25 年     | 平成 30 年     | 平成 25 年 | 平成 30 年 | 平成 25 年    | 平成 30 年     |
| 77 人/371 人  | 119 人/369 人 | 0.4%    | 0.3%    | 86 人/126 人 | 140 人/162 人 |

## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題    | 平均点    | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|--------------|--------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|              |        | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 近所づきあいの希薄化   | 0.3 点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 現状打破への意欲が少ない | 1.3 点  |                      |    |    |    |   |   | ● |   |   |
| 団体などの維持が困難   | 0.7 点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 高齢者への対応      | 0.3 点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 少子化と子どもへの対応  | -0.7 点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |

（玉川地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

#### 住民座談会を通して

- 世代間交流の行事や集まりが少ない。
- 地域への関わり方が、世代間で差異がある。
- 情報共有が難しい。

#### アンケート結果から

- 第1位 少子高齢化・人口減少
- 第2位 災害時の対応
- 第3位 老老介護（高齢者の介護を高齢者が行うこと）

### 社協担当者の分析

- 毎年人口は減少しているが、高齢者人口は増加しており、高齢化率も高くなってきている。
- 団体役員の高齢化や新規参入の減少に伴い、団体運営の維持が困難になってきている。
- 各種イベントや行事が減少し、住民同士集える場が減少してきている。

## 支部活動目標

## 地域の絆を深め誰もが住みやすいまちづくり

日常的なコミュニケーションを深め、住民同士が集える場を構築し、誰もが安心して暮らしていけるよう、ともに見守り、支え合いのできる関係づくりを目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 春夏秋冬お山の食事会

災害に強いまちづくりを目指すため、季節に合わせたイベントを通して、子どもからお年寄りまでが交流し、それぞれが地域課題の共有並びに解決に向けた話し合いを実施します。



### 明るい未来を語る会

自治総会や地域ごとの行事等でワークショップを開催し、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、地域や個別の課題について共有並びに解決方法を考える場づくりを実施します。



### 声をかけ 声をかけられ 生きる町づくり

高齢者の集いの場を展開し、そこに年齢や障がいの有無なく参加できるように、次世代を担うリーダーを養成し、世代を超えた交流を実施します。



### 玉川支部では、このような福祉活動も行っています

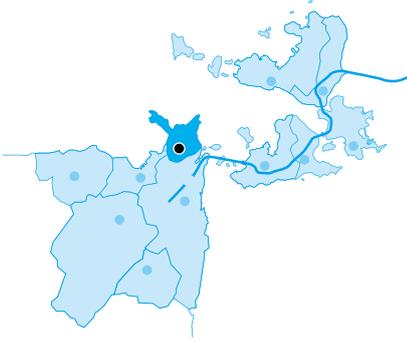


生きがい絵手紙事業  
(高齢者の安否確認)



福祉防災対策事業  
(玉川町鍋地地区 DIG)

# 4 波方支部



- 人口／世帯数 8,612人／3,834世帯
  - 65歳以上の人口 2,959人（高齢化率 34.4%）
  - 15歳以下の人口 955人（年少人口率 11.1%）
  - 年間出生数（出生率） 40人（0.5%） ※波方町のうち波止浜小学校に通学している区域の世帯数と人口は含まれていません。
  - 産業 造船、海運業
  - 伝統文化 半島駅伝大会・半島四国88カ所霊場めぐり
- 平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ



## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題           | 平均点   | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------------------|-------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                     |       | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 地域の孤立や閉じこもり         | -0.3点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 地域の担い手不足による地域活動への影響 | -1.6点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 災害への不安、体制づくり        | 0.5点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 買い物や移動手段の問題         | 1.7点  |                      |    |    |    |   |   | ● |   |   |
| 環境や衛生の問題            | 1.7点  |                      |    |    |    |   |   | ● |   |   |

（波方地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

#### 住民座談会を通して

- 近隣とのコミュニケーション不足
- リーダー不足
- 自主防災組織自体よく分からず、組織があっても実際の活動につながっていないように感じる。災害に対して危機感が薄い。

#### アンケート結果から

- 第1位 身体介護
- 第2位 少子高齢化・人口減少
- 第3位 空き家

### 社協担当者の分析

- 若い人の閉じこもりや地域への無関心、リーダー・担い手不足により地域活動への影響が出ている。
- 隣近所とのコミュニケーション不足により、拒否的な方への関わりが難しくなっているなど地域のつながりの希薄化が進んでいる。

## 支部活動目標

## つながり、助け合い、笑顔のあふれるまちづくり

日々の暮らしの中での見守りや声かけを積み重ね、子どもから高齢者までの集いの場をつくっていくことにより、人と人とのつながり、助け合い、お互いさまの心が育まれ、笑顔のあふれるまちづくりを目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### みんなでつながる地域づくり

自主防災組織を確立し、活動を活性化することで、見守り活動の充実、地域のつながりづくりへつなげていきます。学習会等を開催し、担い手育成に取り組んでいきます。



### 老いも若きも寄って来い来い！

#### 元気な地域

地区ごとに集まる機会をつくり、普段からのつながりづくりをすすめていきます。子どもから高齢者までの集いの場づくりについて考えていきます。



### 声かけおせっかいのススメ！

様々な機会（広報、集金、サロン、回覧板、行事など）を通して声かけを行い、人とふれあうきっかけづくり、顔の見える関係づくりをすすめていきます。



### 波方支部では、このような福祉活動も行っています



多世代交流事業  
(波方小交流給食会)



見守り・生活支援事業  
(ふれあい食事サービス)

# 5 大西支部



- 人口／世帯数 8,455人／3,926世帯
- 65歳以上の人口 2,683人（高齢化率 31.8%）
- 15歳以下の人口 1,054人（年少人口率 11.6%）
- 年間出生数（出生率） 61人（0.7%）
- 産業 タオル、造船、みかん
- 伝統文化 春祭り、継獅子

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ



## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題           | 平均点    | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------------------|--------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                     |        | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 通院や買い物など移動手段の問題     | 0.3 点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 地域活動の固定化や近所づきあいの希薄化 | -0.6 点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 子育て支援の体制づくり         | 1.0 点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 災害への不安、体制づくり        | 0.6 点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |

（大西地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

- #### 住民座談会を通して
- 地域の絆の希薄化
  - 災害への不安
  - 団体や地域活動の後継者がいない参加者の減少

- #### アンケート結果から
- 第1位 地域活動の担い手不足
  - 第2位 少子高齢化・人口減少
  - 第3位 空き家

### 社協担当者の分析

- 家族形態の変化に伴いつながりが希薄化し、地域で孤立しがちな方が増加している。
- 地域の中で必要な情報の伝達や共有がしにくくなっている。
- 次世代のリーダーや担い手の育成が必要である。

## 支部活動目標

人と人がつながり、助け合い、  
誰もが安心して暮らせる地域をつくります。

すべての住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民同士・団体同士・多世代でのつながりを深めていきます。また身近な地域で声かけや交流などを行い、見守り・支え合いができるまちを目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### おおにしオープンキャンパス ～ひとりぼっちをつくらないまち！！～

既存団体の活動や世代を超えた交流を知る機会づくりを推進し、誰もが継続してつどいの場に参加しやすい雰囲気をつくっていきます。



### 笑顔 でつなぐ仲間づくり

隣近所で気軽に声を掛け合い、交流の場に参加できるよう内容の充実化を図ります。また学習等を通して、配慮の必要な方を地域で見守り、助け合える地域を目指します。



### ご近助力で災害をのりこえよう！！

地域や要援護者等の情報を共有し、いざという時助け合える体制をつくるため、隣近所で日ごろから声をかけあい、早く変化に気づくことのできる仕組みづくりを考えていきます。



### 大西支部では、このような福祉活動も行っています



介護世帯給食サービス事業  
(介護世帯へのお弁当お届け)



児童健全育成事業 (ふるさとクッキング)  
(親子向けの郷土料理教室)

# 6 菊間支部



- 人口／世帯数 5,855人／2,726世帯
- 65歳以上の人口 2,514人（高齢化率 42.9%）
- 15歳以下の人口 471人（年少人口率 8.0%）
- 年間出生数（出生率） 21人（0.4%）
- 産業 製造業（石油など）、漁業、農業
- 伝統文化 お供馬、中川漫才

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

| 転入数／転出数  |          | 世帯数     |         | 生産年齢人口 |        |
|----------|----------|---------|---------|--------|--------|
| 平成25年    | 平成30年    | 平成25年   | 平成30年   | 平成25年  | 平成30年  |
| 96人／131人 | 87人／123人 | 2,878世帯 | 2,726世帯 | 3,452人 | 2,870人 |

## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題           | 平均点   | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------------------|-------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                     |       | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 病院や買い物の移動手段の問題      | -1.0点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 地域の孤立や閉じこもり         | 0.0点  |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 地域の担い手不足による地域活動への影響 | -2.0点 |                      |    | ●  |    |   |   |   |   |   |
| 災害への不安・体制作り         | 0.0点  |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 空き家対策               | -2.0点 |                      |    | ●  |    |   |   |   |   |   |

（菊間地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

#### 住民座談会を通して

- 災害に対する不安
- 地域活動の担い手不足
- 高齢者の閉じこもり（80歳以上）

#### アンケート結果から

- 第1位 少子高齢化・人口減少
- 第2位 空き家
- 第3位 交通問題（買い物・通院などへの移動手段）

### 社協担当者の分析

- 高齢化・コミュニティの希薄化などの複合的な要因による担い手不足が深刻化してきている。
- 地域に密着した情報の共有や伝達がされにくくなっている。
- 高齢世帯や障がい者世帯などに関わらず、地域で孤立しがちな方が全体的に増加しつつある。

## 支部活動目標

# 立場に関係なく、誰もが安心して暮らすことの出来るまちづくり

地域で活動している様々な団体・個人とつながりを深め、身近な地域からささえあいの輪を広げていきます。また、地域での立場に関係なく、誰もが安心して「ふるさと菊間」で暮らし続けられるようなまちづくりを目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 安心で安全なまちづくり ～老いも若きも～

地域の住民が集まり、お互いを助け合える関係づくりを目指し、地域のつながりを活かした防災訓練や若年層に向けた取り組みを検討します。



### 菊間何でも情報交流事業 “おいしいよ”

子育て世代や高齢者・子供が生き生きとした町を目指し、様々な暮らしに直結する情報を提供できる場所や ツールづくりを考えます。



### みんなでつくる運動会 !!

既存の地区住民運動会を活用し、地域の住民が集まり、運動会の競技を通して地域の絆や普段からの関係性を深めていくことで、誰もが安心して生活できるような環境づくりを目指します。



### 菊間支部では、このような福祉活動も行っています

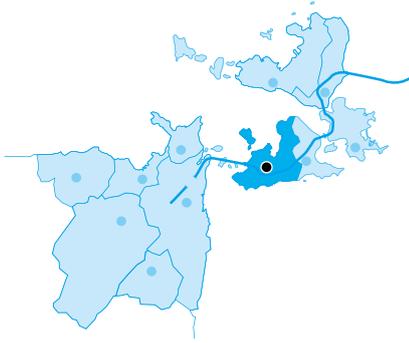


ふれあい食事サービス事業  
(各サロン・ふれあい食事会へ配食)



ふれあい・いきいきサロン事業  
(障がい者サロン 夢かわら)

# 7 吉海支部



- 人口／世帯数 3,510人／1,863世帯
- 65歳以上の人口 1,624人（高齢化率 46.3%）
- 15歳以下の人口 248人（年少人口率 7.1%）
- 年間出生数（出生率） 10人（0.3%）
- 産業 農業、漁業、造船業
- 伝統文化 島四国遍路、權伝馬、涅槃会

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

| 要支援／要介護認定者数 |          | サロン数  |       | 転入数／転出数 |         |
|-------------|----------|-------|-------|---------|---------|
| 2013年       | 2018年    | 2013年 | 2018年 | 2013年   | 2018年   |
| 69人/308人    | 89人/294人 | 8カ所   | 7カ所   | 74人/75人 | 54人/76人 |

## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題            | 平均点   | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|----------------------|-------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                      |       | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 地域行事、イベントサロンなどの後継者問題 | -1.7点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 地域の孤立や閉じこもり          | 0.3点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 高齢者と若者の交流が少ない        | ±0点   |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 災害への不安、体制づくり         | 0.7点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |

（吉海地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

#### 住民座談会を通して

- 災害に対する不安の高まり
- 地域の絆・つながりの希薄化
- 集いの場の問題（若者と高齢者）

#### アンケート結果から

- 第1位 少子高齢化・人口減少
- 第2位 地域活動の担い手不足
- 第3位 空き家の問題

### 社協担当者の分析

- 地域の担い手がだんだんと高齢化している中、若者の地域活動への参加も消極的で後継者不足になってきている。
- 若者から高齢者までが交流できる機会が少なくなっている。
- 高齢者の身体機能の低下や移動手段の変化などから、買い物や通院時などの移動手段の問題を抱えている方が増えているように感じる。

## 支部活動目標

# 災害時にも強い！ ご近所同士で見守りと助け合いのまちづくり

若者から高齢者まで身近な地域での声かけや交流活動の促進を図るとともに、住民同士が自然に見守り・助け合いができる災害時にも強い、福祉のまちづくりを目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 災害いつでもOK活動・いのちを守る防災訓練

地域ごとに話し合いの機会を持ち、日頃からの顔の見える関係づくりを行うとともに、災害に備えて防災訓練や講習会を実施していきます。



### 団結力は笑顔あいさつから！

あいさつ運動や常会等を活用し、日頃から顔の見える関係づくりを行い、笑顔にあふれ、いざというときにも助け合うことのできる、団結力のある吉海を目指します。



### 仲良し会でまちづくり

若者～高齢者、障がいの有無に関わらず、地域の誰もが気軽に集まることができる食事会などの機会（仲良し会）を既存の社会資源（長所）を活かして、積極的に住民の皆様と一緒に開催し地域の交流活動を促進します。



### 吉海支部では、このような福祉活動も行っています



敬老の家事業  
(独居高齢者の生きがい推進)



老人福祉センター自主事業  
(夏休み交流会)

## 8

## 宮窪支部



- 人口／世帯数 2,642人／1,201世帯
  - 65歳以上の人口 1,093人（高齢化率 41.4%）
  - 15歳以下の人口 257人（年少人口率 9.7%）
  - 年間出生数（出生率） 10人（0.4%）
  - 産業 大島石、漁業、農業
  - 伝統文化 能島水軍、水軍レース、島四国お遍路
- 平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

## 要支援/要介護認定者数

平成25年 58人/171人 → 平成30年 69人/210人

## 高齢化率

平成25年 37.7% → 平成30年 41.4%

## 年少人口

平成25年 347人 → 平成30年 257人

## 住民のみなさんの声

## 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題           | 平均点   | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------------------|-------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                     |       | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 買い物や移動手段の問題         | -1点   |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 「地域のつながり」の希薄化の問題    | 0点    |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 地域の担い手不足による地域活動への影響 | -1.5点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 災害への不安、体制づくり        | 1点    |                      |    |    |    |   |   |   | ● |   |
| 世代間で交流する機会の減少       | 0.5点  |                      |    |    |    |   |   |   | ● |   |

(宮窪地域住民座談会の結果より)

## 今もこんなことで困っている！

## 住民座談会を通して

- 地域の繋がりが減って孤立や閉じこもりの問題で困っている。
- 地域で集まる機会が減り、みんなで話し合う場がなくて、困っている。
- 商店の閉鎖や高齢化に伴う免許の返納により買い物や移動手段に困っている。

## アンケート結果から

- 第1位 空き家の問題
- 第2位 少子高齢化・人口減少の問題
- 第3位 地域活動の担い手不足

## 社協担当者の分析

- 既存の団体がなくなり、地域の中において必要な情報の伝達や共有がしにくくなっている。
- 地域の繋がりが希薄化することで、孤立や高齢者の閉じこもりの問題がおきている。
- 高齢・障がい・貧困など複合化した課題を抱えた世帯が増えている。

## 支部活動目標

# 誰もが気軽に集まり、話し合える つながりのあるまちづくり

身近な地域において誰もが気兼ねなく自然と集まることのできる居場所が増えて、人と人がつながり、お互いさまの関係で話し合い、支え合えるまちづくりを目指していきます。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 「みやくぼ喫茶」で語り合おう！

みんなが声を掛け合い、地域の喫茶店感覚で話やお茶を楽しみながら語り合える拠点づくりに取り組んでいきます。



### 「ショップサロンみやくぼ」でつながろう！

日常の困りごとの一つである「買い物」を解決していただけるように地域にある集いの場と移動販売を結び付けた拠点づくりに取り組んでいきます。



### 「みんなで寄り道」し合える地域にしよう！

地域の繋がりを継続していくために、地域の中で人が自然に集まってくる場所で気軽に寄り道ができるような場所を増やせるように取り組んでいきます。



### 宮窪支部では、このような福祉活動も行っています



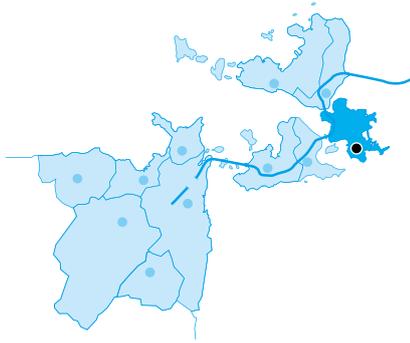
福祉体験学習  
(昔のみやくぼと昔遊び)



地域交流事業  
(宮窪社協まつり)

## 9

## 伯方支部



- 人口／世帯数 6,468人／3,133世帯
- 65歳以上の人口 2,617人（高齢化率 40.5%）
- 15歳以下の人口 617人（年少人口率 9.5%）
- 年間出生数（出生率） 32人（0.5%）
- 産業 造船、海運
- 伝統文化 弓はなし、獅子連

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

## 外国人の数

平成 25 年 265 人 → 平成 30 年 306 人

## 介護認定者数

平成 25 年 499 人(19.8%) → 平成 30 年 498 人(19.1%)

## 年少人口

平成 25 年 727 人 → 平成 30 年 617 人

## 住民のみなさんの声

## 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題           | 平均点    | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------------------|--------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                     |        | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 地域の孤立や閉じこもり         | -0.4 点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 地域の担い手不足による地域活動への影響 | -0.6 点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 災害への不安、体制づくり        | -0.6 点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 買い物や移動手段の問題         | -1.2 点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |

(伯方地域住民座談会の結果より)

## 今もこんなことで困っている！

## 住民座談会を通して

- 担い手不足により、地域活動が縮小している。
- 少子化によって子どもの活動が減っており、関わる機会も少ない。
- 店や病院が減り、今後の生活への不安を持つ高齢者が増えている。

## アンケート結果から

- 第1位 空き家
- 第2位 交通問題
- 第3位 老々介護

## 社協担当者の分析

- 定年後の男性が活動できるつどいの場が少ない。
- 平成 30 年 7 月豪雨災害の被害の大きさの違いから、災害に対する意識に差がある。
- 外国人労働者など若い単身世帯と地域との関わりがあまりできていない。

## 支部活動目標

地域でお互いに支え合い、  
安心して暮らせるまちづくり

地域の活動に地域全体で参画し、顔見知りの関係になることで、世代を超えての関わりができ、平時から " お互い様 " の見守り体制につながります。また、地域活動の一環である防災訓練や住民座談会を通じて、緊急時にも対応できるような伯方を目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### ど～よ、これが伯方のいいとこさがし

既存の活動を活用し、児童と高齢者とで世代を超えてかかわりを持つ場を作り、その中で伯方の良いところ・歴史を若い世代に伝えていける機会をつくります。



### みんなで☆つながる安心♡安全

災害時の避難に関する体制等を地域で共通認識するとともに顔見知りの関係になっていくためにそれぞれの地域ごとで話し合いを行い、実践的に活動を行います。



### 老いも若きも来てみんけん

毎年地域で行われている自治会活動、伝統的行事等に活動者としてだれでも気軽に参加できる方法・雰囲気をつくっていくにはどのようなことができるのか、地域の皆さんと話し合い、実践します。



### 元気な高齢者をふやす！

少子高齢化が進む伯方で、心身ともに健康で過ごしていくために、現役を退いた世代やこれから社会に出ていく若い世代など誰でも気軽に参加でき、活動できるつどいの場をつくります。



## 伯方支部では、このような福祉活動も行っています



介護者サロン活動支援事業  
(介護者や当事者の交流：おってサロン)



小地域見守りネットワーク支援事業  
(地域と連携した防災訓練：北浦自主防災訓練)

# 10 上浦支部



- 人口／世帯数 2,755人／1,451世帯
- 65歳以上の人口 1,462人（高齢化率 53.1%）
- 15歳以下の人口 196人（年少人口率 7.1%）
- 年間出生数（出生率）8人（0.3%）
- 産業 農業（柑橘、イチゴ）、漁業（ヒラメ）
- 伝統文化 秋祭り、いも地蔵さん

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

**世帯数**  
平成25年 1,498世帯 → 平成30年 1,451世帯

**高齢化率**  
平成25年 47.8% → 平成30年 53.1%

**外国人の数**  
平成25年 40人 → 平成30年 70人

## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題           | 平均点    | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------------------|--------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                     |        | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 買い物や移動手段、交通の問題      | -0.25点 |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 高齢者の孤立や閉じこもり、高齢化    | -0.5点  |                      |    |    |    | ● |   |   |   |   |
| 地域の担い手不足による地域活動への影響 | -1.5点  |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 災害への不安、体制づくり        | 1点     |                      |    |    |    |   |   |   | ● |   |
| 世代間交流の希薄化           | 0.5点   |                      |    |    |    |   |   |   | ● |   |

（上浦地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

#### 住民座談会を通して

- JAが閉店。買い物する場所の減少。
- 想定していた災害対応の仕方では、豪雨災害では対応できなかった。新たな対応が必要。
- 以前より地域のつながりが希薄化している。

#### アンケート結果から

- 同率 1位**
  - ・ 少子高齢化、人口減少
  - ・ 空き家
- 同率 3位**
  - ・ 交通問題（買い物、通院などへの移動手段）
  - ・ 地域活動への担い手不足

### 社協担当者の分析

- 災害に遭った地域と災害に遭わなかった地域との災害に対する危機感の格差がある。
- 少子高齢化により地域の行事に参加する若者が減っている。
- サロンなどの集いの場の男性参加者が少ない。

## 支部活動目標

# 困ったときは、お互い様を 言い合えるまちづくり

困ったことがあれば、いつでも相談し合い、お互い様の声かけられる地域になるために、小地域単位での住民同士の支え合い・見守り合いが行えるまちづくりを目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### ふれあいづくり

小地域ごとに地域の各種団体と連携して、防災活動（支え合いマップ、防災訓練など）を実施し、常日頃から助け合いができる災害に強いまちづくりを目指します。



### 絆深まる回覧板♡

地域のつながりが希薄化する中で、高齢者の方の孤立や閉じこもりを防ぐために、回覧板をできるだけ手渡しすることで、顔の見える関係性の構築に努めます。



### お互い様のお付き合い

小地域ごとにあるふれあい・いきいきサロンを推進し、参加することで、孤立防止を防ぐだけでなく、ちょっとした困り事を住民同士で解決できる仕組みづくりを目指します。



### 上浦支部では、このような福祉活動も行っています



子育て支援事業  
(未就学児によるサロン)



在宅介護者交流会事業  
(多世代交流のお菓子作り)

# 11

## 大三島支部



- 人口／世帯数 2,946人／1,580世帯
  - 65歳以上の人口 1,606人（高齢化率 54.5%）
  - 15歳以下の人口 214人（年少人口率 7.3%）
  - 年間出生数（出生率） 7人（0.2%）
  - 産業 農業、土木、製造業
  - 伝統文化 獅子舞、神楽、一角相撲、とんど等
- 平成30年3月31日現在

### 注目したいデータ

| 人口／高齢化率     |               | サロン数    |         | 要支援／要介護認定者数 |             |
|-------------|---------------|---------|---------|-------------|-------------|
| 平成 25 年     | 平成 30 年       | 平成 25 年 | 平成 30 年 | 平成 25 年     | 平成 30 年     |
| 3,350 人/50% | 2,946 人/54.5% | 4 か所    | 11 か所   | 184 人/445 人 | 174 人/496 人 |

### 住民のみなさんの声

#### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題           | 平均点    | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|---------------------|--------|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                     |        | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 買い物やゴミ出し等の移動手段の問題   | 0.6 点  |                      |    |    |    |   | ● |   |   |   |
| 若者の減少・一人暮らしの高齢者の増加  | -2.6 点 |                      |    | ●  |    |   |   |   |   |   |
| 地域の担い手不足による地域活動への影響 | -1.8 点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 災害への不安、体制づくり        | 1.3 点  |                      |    |    |    |   |   |   | ● |   |
| 空き家の管理の問題           | -3.3 点 | ●                    |    |    |    |   |   |   |   |   |

（大三島地域住民座談会の結果より）

#### 今もこんなことで困っている！

##### 住民座談会を通して

- 災害時の対策について地域格差がある。
- 既存の助け合いの仕組みを引き継ぐ人がいない。
- 高齢・障がいのために買い物やゴミ出しなど生活に困っている人が増えている。

##### アンケート結果から

- 第1位 少子高齢化・人口
- 第2位 交通問題  
(買い物や通院などへの移動手段)
- 第3位 空き家

#### 社協担当者の分析

- 活動の担い手の高齢化や人口減少により地域のつながりが希薄化している。
- 認知症での生活課題も増え、在宅で介護をしている家族介護者の悩みや不安が高まっている
- 情報がうまく伝わらないことや周囲への遠慮などにより、様々な生活課題が潜在化している。

## 支部活動目標

# 今ある地域力を活かした 助け合い強化のまちづくり

大三島は、ご近所同士で困った時の助け合いを日頃から行っています。もともと持っている「お互いさま」の精神や地域力をさらに生かすことで助けあいネットワークのさらなる構築やサービスだけでは補いきれない生活課題を、みんなで助け合えるまちづくりを目指します。

## 支部活動計画

～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 助け愛プロジェクト

いざ！という時にご近所同士で助け合える関係性を強化していくために、地域のつながりを重視した実践的な防災活動（支え合いマップ・防災訓練・AED講習等）を実施します。



### No1の福祉を目指そう!! 大三島

地域で様々な年代の人が集い、子育て・介護・担い手不足など地域にある課題をみんなで共有し、本来あるボランティア精神を活かした小地域の助け合いの仕組みづくりについて考えます。



### 生き生きサロン

既存のサロンで集まる機会を活かし、食事や買い物等の日常生活の困りごとをみんなで相談し合い、相談事に対応できるようなサロンの活動内容の充実を図ります。



## 大三島支部では、このような福祉活動も行っています



小中高福祉体験事業  
(大三島小学校 福祉体験学習)



ふれあい訪問事業  
(後期高齢者へお菓子とメッセージのお届け)



- 人口／世帯数 400人／262世帯
- 65歳以上の人口 293人（高齢化率 73.3%）
- 15歳以下の人口 4人（年少人口率 1%）
- 年間出生数（出生率） 0人
- 産業 みかん、サワラ
- 伝統文化 秋祭り、祈禱祭

平成30年3月31日現在

## 注目したいデータ

### 転入／転出数

平成25年 10人/5人 → 平成30年 12人/5人

### 男女別人口

平成25年 241人/290人 → 平成30年 176人/224人

### 要支援／要介護認定者数

平成25年 39人/70人 → 平成30年 39人/49人

## 住民のみなさんの声

### 5年前の地域課題の変化

5年前を0とした場合

| 5年前の地域の課題          | 平均点 | ←悪くなっている 基準 よくなっている→ |    |    |    |   |   |   |   |   |
|--------------------|-----|----------------------|----|----|----|---|---|---|---|---|
|                    |     | -4                   | -3 | -2 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| コミュニティの弱体化と世話人不足   | -1点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 人口減少と高齢化による地域活動の制限 | -1点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |
| 小地域のネットワークづくり      | -1点 |                      |    |    | ●  |   |   |   |   |   |

（関前地域住民座談会の結果より）

### 今もこんなことで困っている！

#### 住民座談会を通して

- 多世代交流の場の減少、若い世代への島内誘致ができていない。
- 要支援者および要支援者に関する情報が更新できていない。

#### アンケート結果から

- 第1位 空き家
- 第2位 少子高齢化・人口減少
- 第3位 交通問題

### 社協担当者の分析

- 医療サービスが少なく、緊急時の医療体制に不安がある。
- 高齢化が著しく、独居高齢者や老々介護世帯が増加している。
- 空き家や、使われていない建物などの有効活用の声も上がっている。

## 支部活動目標

人・地域が輝き、互いに支え合い  
共に生きるまちづくりを目指す

関前地域は日頃から見守りや声かけが自然とできており、「自分のため＝人のため、地域のため」となる、あたたかい地域です。そんな地域で、住民一人ひとりが自分らしくいきいきと生活できるよう、互いに支え合い、共に過ごせるまちづくりを目指します。

支部活動計画 ～地域が一体となって、このような福祉活動に取り組んでいきましょう！～

### 関前で生きる！

住み慣れた地域で、住民誰もが安心して健康に生活できる地域を目指して、日頃から各種団体との連携を密にとり、関前地域の強みを生かした小地域のネットワークづくりを推進します。



## 地域の団体紹介

### NPO法人「きないやせきぜん」

関前地域には、元地域おこし協力隊の方が中心となり立ち上がった「きないやせきぜん」という NPO 法人があります。この団体は、地域の PR 活動や住民の生活支援などを行っており、「行政ではできないこと、自治会で担えなくなったことができる受皿になれば」という思いで活動されています。今後は、既存の社会資源を活用した誘致活動や、宿泊施設の整備などを行っていく予定です。



### 関前支部では、このような福祉活動も行っています



安心して楽しく老いる島づくり事業  
(住民のネットワーク形成と学びの場)



自分史事業  
(当事者理解の促進を図る福祉教育)